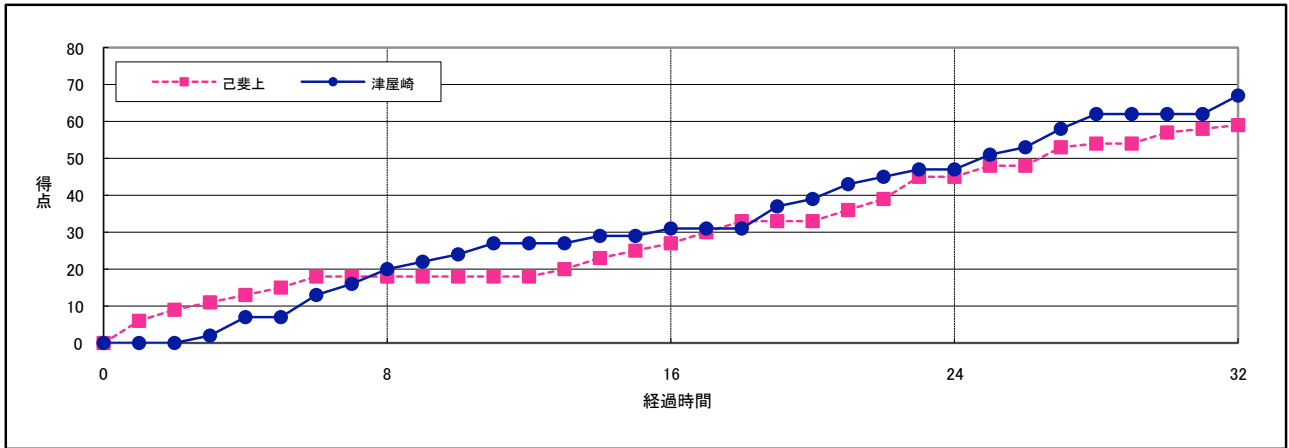


平成21年度全国中学校体育大会  
第39回全国中学校バスケットボール大会



試合区分	1日目 女子 Fコート第4試合 予選リーグN																			
日時	8月20日(木)		13:30 ~																	
会場	サンアリーナせんだい																			
結果	己斐上 広島	59	<table border="0"> <tr><td>18</td><td>1st</td><td>20</td></tr> <tr><td>9</td><td>2nd</td><td>11</td></tr> <tr><td>18</td><td>3rd</td><td>16</td></tr> <tr><td>14</td><td>4th</td><td>20</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	18	1st	20	9	2nd	11	18	3rd	16	14	4th	20		OT		津屋崎 福岡	67
18	1st	20																		
9	2nd	11																		
18	3rd	16																		
14	4th	20																		
	OT																			
審判	主審 西田 智子		副審 田畑 陽子																	



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手

空欄=出場なし

己斐上							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	FT	反則
4	萱嶋 沙羅	×	3	1	0	0	0
5	北 晴美	×	5	1	1	0	0
6	矢田 実奈美	×	9	2	0	3	0
7	上田 葉子	×	32	7	4	3	2
8	森岡 衿奈	×	5	0	2	1	2
9	加藤 沙弓	/	0	0	0	0	0
10	佐古 結希	/	0	0	0	0	0
11	土居 晶子	/	0	0	0	0	0
12	中野 優香	/	5	1	1	0	1
13	田中 咲理	/	0	0	0	0	0
14	溝部 夏海						
15	古村 志織						
16							
17							
18							
監	末田 弘之						
C	石岡 歩						
合計			59	12	8	7	5

津屋崎							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	FT	反則
4	瀬戸 あかね						
5	渡邊 絵里加	/	14	0	7	0	1
6	中村 美仁	/	13	2	3	1	3
7	江崎 美和	×	2	0	1	0	4
8	北阪 優奈						
9							
10	間 萌香						
11	米倉 晴香	×	6	0	3	0	1
12	内匠 媛奈	/	12	0	6	0	2
13	村山 雅	×	6	2	0	0	0
14	西 幹菜						
15	貫方 菜子						
16	牟田 穂乃佳	×	11	0	5	1	1
17	永島 望美	×	3	1	0	0	2
18							
監	山田 加代子						
C	竹内 真二						
合計			67	5	25	2	14

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー

第1P、己斐上は#7の連続3Pシュートで先制すると、その後#5も3Pシュートを決めるなどして2分過ぎには己斐上11-0津屋崎とする。津屋崎は立ち上がり、己斐上のディフェンスの変化に途惑う。しかし、徐々に落ち着きを取り戻し、残り1分を切ってから#18のリバウンドシュートで同点に追いつくと、終了間際に#5がゴール下シュートを確実に決め、己斐上18-20津屋崎と逆転に成功して終了。

第2Pになると、津屋崎のディフェンスが激しくなり、相手のボールを奪うと#6のジャンプシュートや#17の3Pシュートなどで3分過ぎには己斐上18-27津屋崎とリードを広げる。己斐上は、ボール運びに苦しみ、5分間ノーゴールが続く。しかし、対する津屋崎もシュートが決まらずスコアの展開となる。残り2分過ぎ己斐上は#5のポストプレーや#7のジャンプシュートなどで連続4ゴールを奪い2点差とするものの、残り30秒津屋崎#7にジャンプシュートを決められ己斐上27-31津屋崎で前半を終了。

第3Pも、己斐上#7の連続3Pシュートでスタート。開始1分過ぎには己斐上31-33津屋崎と2点差に迫る。しかし、その後津屋崎は、プレスディフェンスからの速攻や#11のミドルシュートなどで一時は10点差をつける。ところが、中盤を過ぎると、己斐上の3Pシュートが立て続けに決まり出し、己斐上45-47津屋崎と津屋崎1ゴールリードで終了。

第4Pも津屋崎は激しいプレスディフェンスと素早いパス回しから得点を伸ばす。一方、己斐崎は#8のゴール下シュートや#12のスチールからの速攻、#7の3Pシュートなどで対抗し、一進一退の展開となる。しかし、津屋崎は、最後まで#5や#12がインサイドで確実にプレーしゲームの主導権を譲らない。終了間際も#16がゴール下シュートを決めると、フリースローも確実に沈め8点差で津屋崎が逃げ切った。